

学習のしおり

中学生になるみなさんへ

《学習することで…》

《学力をつけるためには》

- 1 生活のリズムを整える
- 2 授業を大切にす
- 3 家庭学習を充実させる
[家庭学習を充実させるための4つのポイント]
- 4 テスト勉強法を工夫する
[効果的なテスト勉強法の4つのポイント]
【学習計画表】
- 5 各教科の学習方法
国語科
社会科
数学科
理 科
英語科
実技教科

旭川市立緑が丘中学校

中学生になるみなさんへ

「あなたは、将来どんな人間になりたいですか?」「あなたの将来の夢は何ですか?」みなさんの将来には、様々な可能性があります。その可能性を最大限に引き出して自分の夢をかなえるためには、学習に真剣に取り組むことが大切になってきます。学習し、いろいろな経験をすることで、将来、社会生活を送る上で必要なことが身につき、自分の可能性が育って夢が実現するのです。

過去に実施された全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果によると、次の項目に「している」「どちらかといえばしている」と回答した子は、「していない」「どちらかといえばしていない」と回答した子より、国語や算数・数学の問題において、平均正答率が高い傾向が示されています。

また、今の中学校の学習の評価の中でも、主体的に学習する態度が大きい割合を占めています。日常の学習で主体的な学びの姿勢を先生方も見取ろうとしています。

【小学校】

- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 家で学校の宿題をしている。

【中学校】

- 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 家で学校の宿題をしている。
- 家で苦手な教科の勉強をしている。

このことから、生活のリズムを整えることや家庭で学習する習慣を身につけることが大切です。

《学習することで…》

- * 自分の可能性が育ち、夢の実現につながる。
- * 考えたり、調べたり、経験したりしたこと、問題に立ち向かう気持ちやできるようになった
- * 喜びは、これからのがんばる力になる。
- * 私たちがこれから生きていく、よりよい社会づくりに貢献できる人になれる。
- * 自分を高めるため苦勞する経験は、将来にわたって学び続ける力になる。
- * 学習したことが将来の趣味や特技となり、豊かな心をもって生活できる。 etc

《学力をつけるためには?》

1 生活のリズムを整える

学力というものは、毎日こつこつと努力を積み重ねることで身につくものです。しかし、生活のリズムが乱れると、体調をくずしたり集中力が欠けたりして、学習に対する意欲の低下につながります。生活習慣を見直しによって整った生活のリズムは学力をつけるための基盤になります。

下の当てはまる項目をチェック(☑)し、現在の自分の状況を診断してみましょう。

「生活リズム」チェック

- 余裕を持って起きている。
- 朝食をしっかり食べている。
- 帰宅時間を守っている。
- 各種メディア(テレビ・ゲーム・SNS等)に関わる時間はしっかり決めている。
- 決まった時刻に学習を始めている。
- 前日に次の日の授業の準備を終えている。
- 夜ふかしせず、決まった時刻に寝ている。

チェックの合計【 】個

《診断のめやす》

6個以上→生活のリズムができています。

4～5個→生活のリズムがだいたいできていますが、できていないところを改善しましょう。

3個以下→生活のリズムができていません。毎日の生活を見直してください。

2 授業を大切にす

学習の基本は毎日の授業です。授業の1時間は家庭学習の2～3時間分にもなるほど内容が濃いものです。毎日の授業を大切にしている生徒は必ず学力が伸びています。

「主体的に学習する態度」が評価の観点になり、授業の課題やそれに対する自己の学習状況等を分析してどう取り組んだら自分にとって最適な学びができるかをしっかり考えたり、学級の仲間と効果的に協働して課題の解決に当たったりと、主体的に学習活動にのぞむ姿勢が必要とされます。習ったことをただ覚えるだけでなく、課題の解決にどう活用するかが大切になってきています。授業への取り組み方もより能動的な姿を求められています。

授業に向かう基本的な姿勢をチェック(☑)し、現在の自分の状況を診断してみましょう。

「授業への取組」チェック

- 忘れ物はほとんどしたことがない。
- 授業の前の着席がきちんとできている。
- 宿題は家で必ずやってくる。
- 先生や仲間の話をしっかり聴いている。
- 授業で習ったことを活用し、理解しようとしている。
- 学習したことをノートにきちんとまとめている。
- 重要だと思ったことをメモしたり、線を引いたりしている。
- 積極的に発表したり、仲間と話し合いなどをしている。
- わからないことは質問している。
- 私語などをせず、まわりの人に迷惑をかけていない。

チェックの合計【 】個

《診断のめやす》

9個以上→非常にすばらしい取組です。

7～8個→よい取組ができていますが、9個以上をめざしましょう。

5～6個→ある程度の取組はできていますが、できていないところを改善しましょう。

4個以下→きちんとした取組ができていません。毎時間の取組を見直しましょう。

体調不良等で学校を休んだりすることもあり得ます。その際の授業の内容は、学級の仲間からノートを借りるなどして、**自分でしっかり補充**しておく必要があります。放っておくことのないよう気をつけて下さい。

3 家庭学習を充実させる

毎日の家庭学習は、たとえ宿題がなくても必要です。それは授業で学習したことを理解するのに時間のかかる教科や定着させるために何回も繰り返し練習することが必要な教科もあるからです。学校での授業は「考えたり、判断したり、周りに伝えたりする」活動が中心になってきていますので、習ったことをしっかり定着させるためにも、必ず毎日の家庭学習に取り組みましょう。

【家庭学習を充実させるための4つのポイント】

(1)家で学習する時間を決めておく

毎日ほぼ決まった時刻に学習を始め、学習する時間を決め、それを継続することで学習習慣が身につき、スムーズな家庭学習に取り組めるようになります。部活動のある日・休日など、何通りかの計画を立てておきましょう。自分だけで行うのが困難な場合は、塾や家庭教師等の活用も視野に入れてください。

平日の学習時間のめやす：1・2年生…2時間以上、3年生…3時間以上

(2)目標をもって学習する

「今日は英語の問題集を5ページ終わらせよう」とか「漢字を30字覚えよう」などといった目標や見通しをもって学習することや、自分で「何時までに終わらせよう」といった制限時間などを決めて取り組むことで、「集中力」や「やり遂げたという充実感」が高まり、次の学習の意欲につながります。

(3)集中して学習する

テレビを見ながら、音楽を聴きながら…といった「ながら勉強」は、一見何ともなさそうですが、実際には集中力がとぎれて学習効果が上がらないことがわかっています。部屋や学習機の机上など、学習する場所の整理整頓を心がけることも、集中して学習に取り組むために大切なことです。

(4)五感を使って学習する

教科書などを目で読むだけでなく、音読をしたり、読みながら線を引いたり、ノートにまとめたりするなど、手、口、耳などをフル活用して学習に取り組むと定着率が上がります。

下の当てはまる項目をチェック(☑)し、現在の自分の状況を診断してみましょう。

「家庭学習への取組」チェック

- 決まった時刻に学習を始め、学習時間を確保している。
- 学習の計画たてている。
- その日のめあてをもって学習に取り組んでいる。
- 最初に宿題を終わらせている。
- 「ながら勉強」はしていない。
- 学習する場所を整理整頓している。
- 教科によっては音読をしたり、線を引いたり、ノートにまとめたりしている。

チェックの合計【 】個

《診断のめやす》

- 6個以上→しっかりとした家庭学習の取組ができています。
- 4～5個→ある程度の取組はできていますが、6個以上をめざしましょう。
- 3個以下→きちんとした取組ができていません。家庭学習を見直しましょう。

4 テスト勉強法を工夫する

学習したことがどれだけ身についたかを確認する定期テスト(中間・期末テスト)や学力テストで満足のいく結果が得られないと悩んでいる人も多いようです。そこで、「効果的なテスト勉強法」を紹介するので参考にしてください。

【効果的なテスト勉強の4つのポイント】

(1)必ずテストに向けた「学習計画」を立てる

中学校では、定期的にどの教科も一齐にテストが行われるので学習する範囲が広がります。計画性のない学習では取組が不十分なままの教科が出てくるおそれがあります。きちんとした見通しをもって効率よく取り組むためには、必ずテスト向けの学習計画を早めにつくることが必要です。2週間から、遅くとも10日くらい前には計画を立て、テスト勉強に取りかかりたいところです。

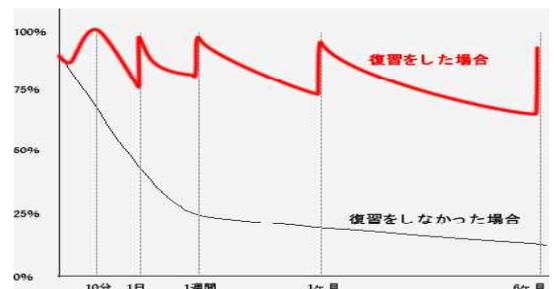
(中学校では定期テスト2週間前に計画表の作成をし、学習習慣の定着をねらって実践することになっています)

(2)立てた計画を実行する

せっかくの計画が「計画だおれ」にならないように、決めた時刻になったら机に向かい、特別なことがない限りは、計画を実行する努力が必要です。しかしながら、必要に応じて計画を見直し、修正しながら実行していく柔軟性も大切です。「自分の目標」をもち、「きちんとした計画」のもと「強い意志で実行する努力」でよい結果につなげましょう。

(3)覚え方を工夫する

一問一答式の問題を作成したり、家族や友人に問題を出してもらったりしながら自分が理解できていないところを確認したり、大切なことを覚えながらカードにまとめ「暗記カード」を作ったりするなど、いろいろな工夫をすることができます。方法を工夫する中で何度も復習することが一番効果的です。



右のグラフは、下の曲線がドイツの心理学者のH・エビングハウスによる記憶実験から得られた曲線です。学習後何もしないと、だいたい10分後には約30%、1日後には半分以上、1週間後に

は約75%のことを忘れてしまうそうです。さらに上の曲線は教育学者P・ラッセルの復習曲線です。**学習後の復習を繰り返すことによって、記憶量に明らかな差が出てきます。**

テスト前の一夜づけでは、定期テストはもちろんですが学力テストなど範囲が広いものには、とうてい太刀打ちできません。

やはり、完全に忘れないうちに「早めに何度も復習する」ことが大切なのです。

(4)わからないことはそのままにしておかない

わからないことをそのままにしておくと、関連した内容もわからなくなっていきます。自分で考えたり、調べたりして、それでもわからないときは仲間や先生などに尋ねて、必ず解決しましょう。

下の当てはまる項目をチェック(☑)し、現在の自分の状況を診断してみましょう。

「テストに向けた取組」チェック

- テスト用の学習計画を立てている。
- 学習計画の見直しや修正をしながら実行している。
- 現状に満足せず、自分なりの目標をもってテスト勉強に取り組んでいる。
- 覚え方の工夫をしている。
- 繰り返し復習している。
- わからないことはそのままにせず、必ず解決している。

チェックの合計【 】個

《診断のめやす》

- 6個 →成績アップ間違いなし!
- 5個 →よい取組ができています。
- 4個 →ある程度の取組はできていますが、成績向上のために5個以上をめざしましょう。
- 3個以下→真剣にテストに対する取組を考えましょう。

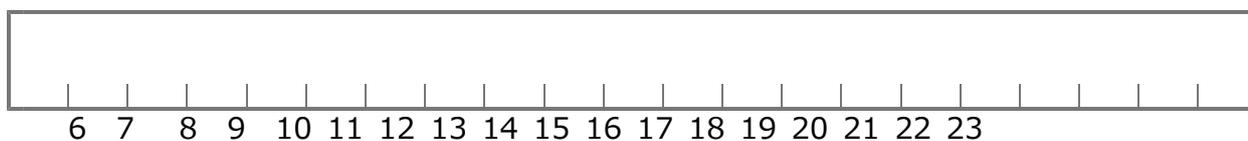
【学習計画表】

あくまでも目安になりますが計画の見直しや修正をしながら、自分にあった学習計画表をつくりましょう。また、その日にどのような内容(教科)の学習をするか、細かな計画も立てておくとういでしょう。各種メディア(テレビ・ゲーム・SNS等)に関わる時間もはっきり決めておくことも必要です。

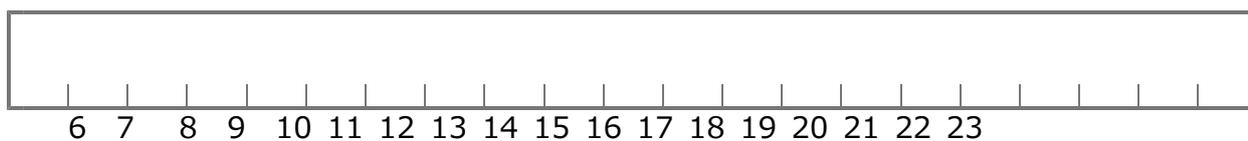
【計画例】〈 土曜日 〉用



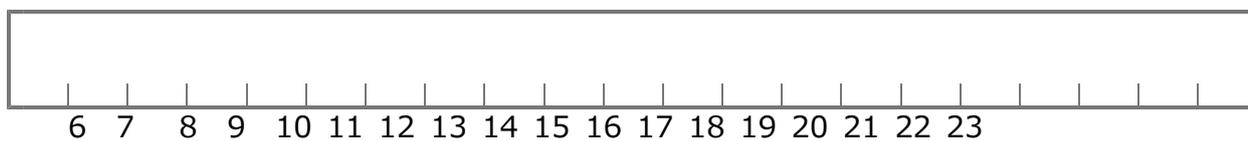
【計画①】〈 〉用



【計画②】〈 〉用



【計画③】〈 〉用



5 各教科の学習方法

(1) 国語科の学習をすると…

- 相手の意見や考えを理解する力がつく。
- 自分の考えや気持ち、思いを伝える力がつく。
- 情報を正しく理解する力がつく。
- 想像力や豊かな感性が身につく。
- 国語（母国語）を大切にできる心が育つ。
- 言葉の学習や習得は、人間形成につながる。
- 話す・聞く・読む・書く学習は、すべての教科の基礎になる。

<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 前の時間の内容を確認する。 ② 授業のめあてをしっかりとつかむ。 ③ 学習課題や先生の質問について自分なりの考えをもつ。 ④ 自分の考えをはっきり述べる。 ⑤ 先生の話や友達の発言をしっかりと聞く。 ⑥ 学習活動（話す・聞く・読む・書く）に、積極的に参加する。 ⑦ ノートやプリントなどを工夫しながら丁寧にまとめる。 ⑧ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。 ⑨ 提出物等の期限をしっかりと守る。 ⑩ 身近なところに辞書を置き、いつでも活用できるようにしておく。 ⑪ 仲間の意見や発表、作品などを大切に認め合う。
<p>家庭での 学習の仕方</p> 	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書をすらすら読めるようになるまで音読する。 ② 新出漢字や読めない漢字、意味のわからない語句を辞書で調べておく。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業で使ったプリントやノート、ワークを整理し、授業を振り返る（プリントはきちんとファイルにとじておく）。 ② 学習した漢字、語句などを確認してノートに書いて覚える。 ③ 学習したことをノートにまとめる。 ④ 宿題は、学習したその日のうちにする。 ⑤ 問題集に取り組むなど、テスト形式で復習する。
<p>効果的な テスト勉強法</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解いてみる。 ② 漢字を繰り返し書いて覚える。 ③ 教科書や資料集を繰り返し音読する。
<p>ワンランクアップ するために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 辞書を手もとに置き、わからないことを調べる習慣を身につける。 ② 新聞を読んだり、読書をする習慣を身につける。 ③ 常に文字を正しく美しく書くように心がける。 ④ 漢字や語句に関する本や番組に関心をもつ。 ⑤ 毎日の生活の記録や日記等、一日を振り返って丁寧にまとめる。 ⑥ 機会あるごとに、作文・詩・短歌などをつくってみる。

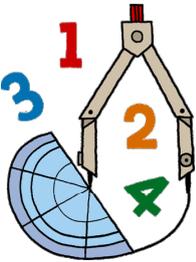
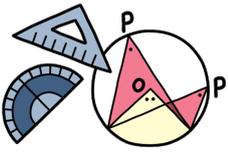
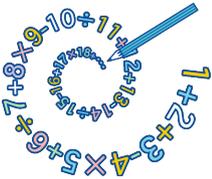
(2) **社会科**の学習をすると…

- 自分の住んでいる地域から世界まで、位置関係や地名、地域の特色、生活している人々の様子などを知り、社会に出たとき生かすことができる。
- 違った国の文化や人々の生活習慣を知り、互いの文化を尊重し合う気持ちを深めることができる。
- 先人の業績を知り、将来の生活や生き方に生かす力を身につけることができる。
- 歴史的な視点から日本と諸外国との関係をとらえることができるようになる。
- どんな権利や義務があるか、政治や経済の仕組みがどうなっているのかなど、実生活に生きる国民としての基本的な知識を身につけることができる。
- 国際社会の一員として活躍するための知識を身につけることができる。

<p>授業の受け方</p>  	<ol style="list-style-type: none"> ① 前の時間の内容を確認し、その日のめあてをしっかりとつかむ。 ② わからないことや疑問に思ったことなどを進んで質問する。 ③ 間違いを気にせず、自分の考えをはっきり述べる。 ④ 調査活動などでは、方法を工夫して意欲的に取り組む。 ⑤ 討論やディベート、話し合い活動等に積極的に参加する。 ⑥ ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。 ⑦ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。 ⑧ 特に地理的分野では、地図帳をできるだけ活用する。 ⑨ 歴史的事象（出来事）を他の事象との関連を考えながらおさえる。 ⑩ 公民的分野では、日常生活との関わりを考えながら学習する。
<p>家庭での学習の仕方</p> 	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書をよく読み、疑問点やわからない語句を確認する。 ② 重要な語句をチェックしたり、ノートに書き出したりしておく。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業で使ったプリントやノート、ワークを整理し、授業を振り返る。 ② その日に学習した用語や地名、人名、出来事の名称などを確認し、色分けや図式化など、工夫してノートにまとめる。 ③ 問題集などで基礎的・基本的内容をおさえておく。 ④ 間違えた部分をノートにまとめる。
<p>効果的なテスト勉強法</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業で使ったプリントやワークなどの問題をもう一度解いてみる。 ② 一問一答形式で友達と問題を出し合う。 ③ 間違えた部分をまとめたノートの内容を確認するなどして、重要な語句を確実に覚える。
<p>ワンランクアップするために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自分で用語カードを作り、機会あるごとに見て覚える。 ② 重要な語句や出来事を覚えるだけでなく、説明できるようにしておく。 ③ 地名や場所を必ず確認して、位置関係をつかんでおく。 ④ 教科書の本文だけでなく、資料や地図、グラフ、写真なども注意して見る。 ⑤ 社会科に関する本や新聞、ニュース番組などを積極的に読んだり見たりすることで時事問題に対応する力をつける。 ⑥ 市販の問題集などに取り組むことで、いろいろなパターンの問題に対応する力をつける。

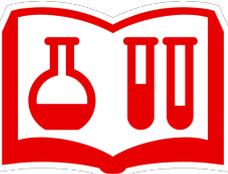
(3) **数学科**の学習をすると…

- 物事を論理的に考え、処理していく力がつく。
- 日常の生活に役立つ計算力が身につく。
- 様々な解決方法を考える力が身につく。
- 自分の考えを筋道立てて説明できる力が身につく。
- 情報を処理する能力が身につく。
- 学習した内容を様々な分野で活用することができる。

<p>授業の受け方</p>  	<ol style="list-style-type: none"> ① 前の時間の内容を確認する。 ② 自分の考えが正しいかどうか進んで発表して確認する。 ③ 授業に集中し、先生の説明や友達の発言をしっかりと聞く。 ④ 板書事項は必ずノートにとり、色や記号などを工夫して自分の考えや解決の過程が一目でわかるノートにする。 ⑤ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。 ⑥ わからないことは必ず質問して解決する。 （質問の時間がない場合は授業後に聞くなどして解決しておく。） ⑦ 答えが「合った」「合わない」よりも答えが出てくる過程や発想を大切に する。 ⑨ 学習したことを活用して、いろいろな解き方にチャレンジしてみる。
<p>家庭での 学習の仕方</p> 	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書の例題や練習問題などを自分でやってみて、わからないところやできないところを確認しておく。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業で学習したことは、その日のうちに復習する。 ② 間違えたところは、一人で解けるようになるまで繰り返し復習する。 ③ 復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決する。 ④ 宿題は、（内容を確認しながら）学習したその日のうちにする。
<p>効果的な テスト勉強法</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 教科書、ノート、ワークで重要語句や解き方などを確認し、問題を何度も繰り返し練習する。 ② テスト範囲の教科書やプリント、ノート、ワークなどの問題を何度も繰り返し練習する。 ③ ワークで間違えたところは解説を読んだり、質問したりして理解し、印などをつけておき、数日後もう一度挑戦する。できるまで繰り返す。 ④ わからないことは、先生や友達に聞いて必ず解決しておく。
<p>ワンランクアップ するために…</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 参考書や問題集などを使って、いろいろな問題に挑戦する。 ② テストで間違えた問題に再度取り組み、確実に自分のものにする。 ③ 早く解けるようになるために、時間内にどこまでできるか挑戦する。 ④ 余裕があれば、高校入試問題や時間のかかる難解な問題にも、時間をかけてじっくりと取り組んでみる。

(4) **理科**の学習をすると…

- 生活に役立つ知識が身につく。
- 生活の中から問題を見つけ、予想を立てて調べ、考えていく力が身につく。
- 疑問に感じることを他と協力しながら解決していく力が身につく。
- 事実をしっかりととらえ、物事を正しく判断する力が身につく。
- 実験器具や薬品などの取扱い方が身につく。
- 自然の仕組みや不思議さ、すばらしさを知ることができる。
- 自然と人間の関わり（地球に生きる一生物として、どのように生きていけばよいか）について考え、知ることができる。

<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業のめあてをしっかりとつかむ。 ② 予想を立てたり、実験結果から何がわかるかを考えるなど、考える時間を大切にする。 ③ 観察や実験では、何を調べるか考えて、班で協力して取り組む。 ④ 先生の話をよく聞き、特に実験では、指示に必ず従って安全面に十分注意して取り組む。 ⑤ 実験や観察では、細かい変化にも注意し、しっかりと記録をとり、最後は自分の言葉でまとめられるようにしておく。 ⑥ 先生が板書したことは、ノートに工夫しながら丁寧にまとめる。 ⑦ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。 ⑧ 公式や重要語句は確実におさえておく。 ⑨ 積極的に発表し、わからないことは質問して理解しておく。
<p>家庭での学習の仕方</p> 	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書をよく読み、疑問点やわからない語句を確認する。 ② 重要な語句をチェックしたり、ノートに書き出したりしておく。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業で使ったプリントやノート、ワークを整理し、授業を振り返る。 ② その日に学習した理科用語を正しい漢字で書いたり、学習した内容を色分けや図式化など、工夫してノートにまとめる。 ③ 宿題や練習問題を学習したその日のうちにする。 ④ 復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決する。
<p>効果的なテスト勉強法</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 理科用語を繰り返し書いて覚える。 ② ノートを振り返るなどして、公式や重要事項を確実に覚える。 ③ プリントやワーク、ノートなどの問題を繰り返し解いてみる。
<p>ワンランクアップするために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 進んで自然とふれあい、身近な自然の様子を知る。 ② 実験結果や様々な現象を自分の言葉で説明できるように繰り返し学習する ③ 疑問に思ったことを、図書館やインターネットを利用して積極的に調べてみる。 ④ 理科に関するテレビ番組やニュース、新聞記事、科学雑誌などを進んで見るようにする。

(5) **英語科**の学習をすると…

- 世界で広く使われている言語を学ぶことで、国際社会に対応するために必要な力が身につく。
- 英語を通して積極的にコミュニケーションを図る力が身につく。
- 相手の考えを理解し、自分の考えを英語で表現する力が身につく。
- 英文を読み、内容を理解できる力が身につく。
- 日本語や日本の風俗習慣など、日本の文化を見直すことができる。
- 違った国の違った文化や人々の生活習慣を知り、互いの文化を尊重し合う気持ちを深めることができる。
- 音楽や映画など身近な所で英語が使われていることに気づき、生活する上での視野が広がる。

<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 前の時間の内容を確認する。 ② その日の学習課題を確認する。 ③ 単語の発音や教科書の音読などは、しっかりと大きな声です。 ④ 発音やリズムに注意して聞き、まねながら練習する。 ⑤ 学習活動（話す・聞く・読む・書く）に、積極的に参加する。 ⑥ 間違いを気にせず、意欲的に発表する。 ⑦ 基本文や語句をしっかり覚える。 ⑧ ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。 ⑨ わからないことは、先生やALTに質問し、必ず解決する。
<p>家庭での学習の仕方</p> 	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新出語句や教科書の本文をノートに書き、語句の意味を調べておく。 ② 疑問点やわからない語句を確認する。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業で使ったプリントやノート、ワークを整理し、授業を振り返る。 ② その日に学習した単語、例文などを繰り返し練習（書く・音読）して覚える。 ③ 宿題は、学習したその日のうちにする。 ④ 復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決する。
<p>効果的なテスト勉強法</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解いてみる。 ② 単語や例文などを繰り返し練習（書く・音読）して確実に覚える。 ③ 教科書の本文を覚えるまで音読する。
<p>ワンランクアップするために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① オリジナルの単語カードや熟語カードをつくって活用する。 ② 日常の出来事などを英文にして先生に見てもらう。 ③ 英語検定や英語発表大会に挑戦する。 ④ ALTに自分から進んで話しかける。 ⑤ テレビやラジオの英会話番組を活用する。 ⑥ 映画や洋楽など、楽しみながら生の英語にふれるようにする。 ⑦ 英語放送のニュースやテレビの音声切り替えを利用して、英語に触れる機会を増やす。

(6)中学校には他に、**実技系教科（技術家庭科・保健体育科・美術科・音楽科）**があります。

前記の5教科ほどの授業時数はありませんが、各教科ともに明確な目標や目的があり、学習評価上も全ての教科が同等です。

「副教科」などと呼んで下に見たり、取り組みの手抜きをしたりするなどは禁物です。